

鎌倉市こども計画（第3期鎌倉市こども・子育てきらきらプラン）（素案） 意見公募の概要

実施期間：令和7年（2025年）1月14日～2月12日
 公募結果：4人12件

人数	件数	章	基本目標等	主要施策	ページ	意見の概要	回答（確認後）
1	1	全体				分かりにくく、読みにくい。ダイジェスト版を作成してほしい。	策定に合わせ、概要版を作成します。
1	2	4 施策の展開	全体			既存事業と新規事業との区別がわからない。新たな対策が何であるかを明記することと、このプランに記載のない新たな施策に取り組む際にこのプランが足枷にならないようにしてほしい。	第4章各主要施策における主な事業の中に、第2期子ども・子育てきらきらプラン（以下「第2期プラン」）に記載のない事業を新規事業として明示します。なお、第5章地域子ども・子育て支援事業における新規事業については記載済みです。また、本計画に記載した事業は主な事業です。各施策に基づく事業は他にもあるものと認識しており、また新たな施策を実施する際には、本計画との整合性を確保する必要はあると考えますが、計画を策定することが実施の足枷にはならないと考えております。
1	3	5 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	4 幼児期の教育・保育事業の量の見込みと確保方策	(1) 確保方策（事業の提供体制）及び実施時期	107～108	都合のいい見込み試算で横ばいとして、それに合わせればよいようにしか見えない。施設やサービスを充実させる気が一切見えない。量の見込みは①ポジティブな推計、②現状維持、③ネガティブな推計の3パターンとし、今後の社会増自然増を狙って、ポジティブな推計を目指していくために、何を拡充するのかを明記するべきではないか。	量の見込みの算定にあたっては、人口減だけでなく、現状における各事業の利用状況等も考慮して算定しております。保育事業における見込み量は、第2期プランと比べ増加すると見込んだうえで、それに対応できるよう、必要な施設整備を進める計画としました。具体的には、2歳児までの定員数の不足が見込まれていることから、2歳児までを対象とする小規模保育施設を中心とした施設整備を行います。この計画を着実に進めることで、待機児童の解消に努めてまいります。
1	4	5 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策	3 目標人口		104～106	隣接市の勢いで既けなりの遅れをとっている状況を正しく認識できておらず、このプランに基づいて今後何年間も運用されては、対策は不十分なことは明らかだと感じます。今後より一層に市町村間での人口の奪い合いになるなかで、現状の延長では藤沢市や横浜市に流出する一方ではないか。説明しやすいがための数字遊びでの必要量はどの意味もない。保育園、小学校などの建て替え計画や、深沢のまちづくりの推進、大船の再開発の推進、マンション開発等、少しでもインパクトのあることが起こると耐えられないのではないかと。	第2期プラン計画期間中において、保育の見込み量の実績値が計画値を上回る状況が続いたことから、本計画では、人口減だけでなく、現状における各事業の利用状況等も考慮して見込み量を算定しました。その結果、保育事業における見込み量は、第2期プランと比べ増加すると見込んでいます。なお、目標人口の根拠とした新たな総合計画策定に向けた人口推計の実施にあたっては、大規模開発事業による人口の変化を「開発インパクト」として加味するなどにより、実態に近い推計となるよう努めました。現状想定していない開発インパクト等に伴う保育需要の変化への対応については、今後の進捗管理の中で適宜見直しを行い、充足に努めてまいります。
1	5	1 計画の策定にあたって	4 計画の位置づけ		9	総合的なまちづくりとの紐付きを踏まえたプランとしてほしい。	市政の最上位計画である鎌倉市総合計画の部門計画として策定します。また策定にあたっては、国・神奈川県が策定や策定中の関連計画を勘案するとともに、策定中の次期鎌倉市総合計画を含めた市の各種計画等との整合・連携を図っています。
2	6	4 施策の展開	3 子育て当事者への支援の取組を推進します	(1) 経済的支援の充実	90	第1子の年齢に関わらず第2子の保育料の助成をしてほしい。	現在、本市独自の制度として、きょうだいともに未就学児で保育所等を利用している場合に、利用児童のうち、2人目の保育料を無償としています。本制度は未就学児が複数いる世帯の負担軽減を図ることを目的としていることから、ご提案いただいた点については、今後の検討課題とさせていただきます。
3	7	全体				施策がアンケートのどの結果に基づいて作られたものであるのか、対応関係が分かりにくいと感じました。代表的な意見だけでなく、「定量的にどのような結果であったから、こういった施策を打つ」という形で表現していただきたいです。	ご指摘を踏まえ、第5章冒頭に、アンケート結果と量の見込み及び確保方策との関係性についての説明を追加しました。なお、アンケート結果は第5章の量の見込みを算出するにあたっての根拠資料としたほか、第4章における施策の内容検討にあたり活用しました。また第5章の確保方策は、アンケート結果等をもとに算出した量の見込みを充足できるように作成しており、定量的な結果をもとにした計画策定がなされているものと認識しています。
3	8	4 施策の展開	1 ライフステージに共通した取組を推進します	(4) こどもや若者への切れ目のない保健・医療の提供	68	妊婦検診に関する補助券の配布や、助産師との面談、産後ケアなど他自治体と比較しても良いサービスが受けられたものと思います。一方で、湘南モノレール湘南深沢駅にエレベーターが無かったり、鎌倉駅周辺の屋間人口増加など、ハード面の整備がまだ足りていないと感じます。様々な事業計画を立てる上でも、市民が子育てを行う上で不便に感じている声の「具体的な」吸い上げを本アンケート等を通して実施し、その結果をフィードバックするようお願いいたします。	計画策定にあたっては、アンケート結果を第5章の量の見込みを算出するにあたっての根拠資料としたほか、第4章における施策の内容検討にあたり活用したところです。計画の実現にあたっては、今後もあらゆる機会を捉え、できるだけ多くの当事者から意見を聞きながら、施策に活かしてまいります。なお、湘南深沢駅のエレベーターについては、湘南モノレール株式会社が駅の改修工事と併せて整備する予定です。
3	9	4 施策の展開	1 ライフステージに共通した取組を推進します	(2) 多様な遊びや体験及び交流の機会づくり	63	鎌倉市は歴史的な特色の強い自治体であるため、その強みを生かす体験作りは非常に重要だと思います。一方、旧来から現在に至るまでに変わった点や、自然と人間生活の関わりについて学ぶ機会を増えると感じています。例えば、SDGsの目標の一つである「海の多様性を守る」という観点で、臨海学校を市が支援して漁港などと共同で開催できると良いと感じます。シラス漁についても、文化とSDGs観点の両面から子供たちに考えさせる事も必要かと感じています。	学校での活動は各学校の教育課程に基づくものであり、各学校での検討事項となります。いただいたご意見については、今後の検討課題とさせていただきます。
3	10	4 施策の展開	1 ライフステージに共通した取組を推進します	(7) 児童虐待防止対策の推進及びヤングケアラーへの支援	75	児童虐待が発生してしまう根本的な原因についての記述・対策がありません。発生した後に守るのではなく、それを防ぐため、虐待をした親本人への積極的なヒアリングとそれを活動に活かすPDCAサイクルを回していただきたいと思っております。	本市では、児童虐待への対策として、こども家庭センターを中心に、家庭支援・こどもや親子の居場所支援の推進・要保護児童対策地域協議会などの地域ネットワークの連携などにより、こどもや家庭を継続的に支えることで、虐待の未然防止、早期発見、早期対応に努めてきたところです。引き続き、ご提案いただいた点も踏まえながら、関係機関の適切な対応と支援者の資質向上に努めるとともに、地域の連携体制の充実を図ることで、虐待の未然防止、早期発見、早期対応に努めてまいります。
3	11	4 施策の展開	1 ライフステージに共通した取組を推進します	(8) こども・若者の安心安全な生活環境の確保	77	・オーバーツーリズムの対策として、鎌倉駅周辺の人の分散は大きな課題です。昨年、徒歩での移動を推奨したりなどソフト面での対応を進めていましたが、ハード面でも様々な検討をしていただきたいと考えています。（都市版パークアンドライド、鎌倉～深沢再開発エリア間のBTR導入など）また、歩道が狭くガードレールが無い道があまりにも多すぎます。市による用地買収を含め、多角的な視点で安心・安全な道路環境づくりをお願いします。	鎌倉駅周辺の人の分散については、市としても課題として受け止めているところで、交通環境の改善に向け、引き続きパーク＆ライドなど交通需要を管理するための施策に取り組んでまいります。
4	12	4 施策の展開	2 ライフステージ別取組を推進します	イ学童期・思春期(1) 資質・能力の育成に向けた学校教育の充実	82	水泳の授業数について、プールがない小学校でも、プールのある学校と同じ程度授業数が提供されるように代替策を考えてほしい。	時間数については、各学校の検討事項となります。代替案については、今後の課題として受け止めてまいります。